



各位

### 「第1回ぎふ長良川花火大会」の経済波及効果の推計 【観覧者による岐阜県内への経済波及効果は30億円】

十六フィナンシャルグループのシンクタンクを担う株式会社十六総合研究所（社長 佐竹 達比古）は、2023年8月11日に開催される「第1回ぎふ長良川花火大会」の観覧者による岐阜県内への経済波及効果を推計しましたので、お知らせします。

#### 調査結果概要

##### ■ 「第1回ぎふ長良川花火大会」の観覧者数及び観光消費額の推計結果

	観覧者数（千人）	観光消費額（百万円）
総観覧者	450	2,394
岐阜市民	170	505
岐阜市民以外（日帰り客+県外宿泊客）	250	1,123
岐阜市民以外（県内宿泊客）	30	766

（注）表示未満の四捨五入により各項目の計と合計が一致しない場合があります（以下、同様）。

##### ■ 観覧者による岐阜県内への経済波及効果の推計結果

	経済波及効果（百万円）
総合効果	3,004
直接効果	1,947
間接効果	1,057

※岐阜県「経済波及効果分析システム（Ripple）」を用いて推計

※直接効果：観覧者による観光消費額のうち、岐阜県内に対する生産増加分（県内自給率を考慮して推計）

間接効果：直接効果により県内産業にもたらされる生産増加分（1次波及効果）と直接効果及び1次波及効果により生じた雇用者所得の増加分が消費に向けられることでもたらされる生産増加分（2次波及効果）の合計

【ご照会先】十六総合研究所 リサーチ部 松井 岐阜県岐阜市神田町 7-12 TEL 080-3273-7832

## 調査結果

### 1. 第1回ぎふ長良川花火大会について

「長良川花火大会」は岐阜市で行われる全国屈指の大規模な花火大会で、毎年7月の最終土曜日に「全国選抜長良川中日花火大会」が、1週間後の8月の第1土曜日に、「全国花火大会」が開かれ、それぞれ約3万発の花火が夜空を彩る岐阜の夏の風物詩です。

今回、コロナ禍で2019年以来4年ぶりの開催となりますが、これまで中日新聞社と岐阜新聞社が別々に主催してきた二つの花火大会を一本化することに加え、岐阜市、中日新聞社、岐阜新聞社、岐阜商工会議所、岐阜観光コンベンション協会、岐阜長良川温泉旅館協同組合、岐阜ホテル会、会場周辺の自治会連合会で構成される「ぎふ長良川花火大会実行委員会」を設立しての開催で、官民一体となった「オール岐阜」の花火大会となります。

【過去の長良川花火大会の観覧者数（2大会の合計）】

開催年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
観覧者数	65万人	80万人	70万人	70万人	65万人	70万人

出所：岐阜県「観光入込客統計調査」

### 2. 経済波及効果の推計について

花火大会などイベントの経済波及効果の推計は、一般的には「観覧者による観光消費額」と「イベント主催者などが支出する事業費」の合計で推計しますが、本調査では「観覧者による観光消費額」のみを推計します。

#### 2.1. 観覧者数の推計

観覧者数は、所在地や県内での宿泊の有無などで一人あたり観光消費額が異なるため、①岐阜市民、②岐阜市民以外の日帰り客（県外宿泊施設への宿泊客を含む）、③岐阜市民以外の県内宿泊施設への宿泊客に分類して推計します。

「長良川花火大会」は全国屈指の大規模な花火大会であることから、岐阜市外からも岐阜県内や愛知県を中心として多くの人を訪れています。2014年から2019年までの6年間の平均観覧者数は70万人で、1大会あたり35万人でした。今年の花火大会は、4年ぶりの開催であり、かつ二つの大会が一本化されることから、大変注目度が高く例年よりも多くの人を観覧に訪れることが予想されます。

##### ①観覧者数（岐阜市民）

「長良川花火大会」は岐阜県を代表するイベントであり、開催地である岐阜市からも多くの人を訪れており、17万人と推計しました。

##### ②観覧者数（岐阜市民以外の日帰り客+岐阜県外宿泊客）

前述のとおり、岐阜県を代表するイベントであることから、岐阜市外からも岐阜県内はもちろんのこと、愛知県や遠方からの観覧が予想されることから、25万人と推計しました。

③観覧者数（岐阜市民以外の岐阜県内宿泊客）

岐阜県内の宿泊施設の定員等を勘案し、岐阜市民以外の岐阜県内宿泊者数を3万人と推計しました。

【観覧者数の推計結果】

	観覧者数（千人）
総観覧者	450
岐阜市民	170
岐阜市民以外（日帰り客+県外宿泊客）	250
岐阜市民以外（県内宿泊客）	30

2.2.観光消費額の推計

観光消費額は、【観光客数（実人数）×一人あたり観光消費額】で推計します。岐阜市では2020年3月に公表した「岐阜市観光ビジョン」において「一人あたり観光消費額」を調査していますので、本調査ではその結果を活用して観光消費額を推計します。

【岐阜市内における一人あたり観光消費額】

項目（円）	日帰り観光			宿泊観光	
	岐阜市民	その他全国	外国人	その他全国	外国人
飲食費	1,767	2,132	2,815	5,226	5,479
入場料・利用料金等	207	417	663	781	1,598
買物（お土産代等）	789	1,058	2,613	2,078	3,674
宿泊費	0	0	0	11,347	9,802
岐阜市までの交通費	87	741	1,379	4,595	2,283
岐阜市内での交通費	68	78	533	509	583
ツアー・パック料金	28	42	277	608	354
その他	25	24	0	391	0
合計	2,971	4,493	8,279	25,535	23,773

出所：岐阜市「岐阜市観光ビジョン」

2.1.で推計した観覧者数に上表の一人あたり観光消費額を乗じると、

- ①岐阜市民 : 170千人 × 2,971円 = 505百万円
- ②岐阜市民以外の日帰り客+岐阜県外宿泊客 : 250千人 × 4,493円 = 1,123百万円
- ③岐阜市民以外の中県内宿泊客 : 30千人 × 25,535円 = 766百万円

となり、これらを合計して、観覧者により2,394百万円の観光消費が喚起されると推計しました。

**【観光消費額の推計結果】**

	観光消費額（百万円）
総観覧者	2,394
岐阜市民	505
岐阜市民以外（日帰り客+県外宿泊客）	1,123
岐阜市民以外（県内宿泊客）	766

**2.3. 有料観覧席料の推計**

今大会では、4,000円から10,000円の有料観覧席を約17,000席設けていることから、その販売構成比から有料観覧席料の総額を100百万円と推計しました。

**2.4. 観覧者による岐阜県内への経済波及効果の推計**

2.2.で推計した観光消費額と2.3.で推計した有料観覧席料を基に、統計や一定のルールに基づき産業ごとに県内自給率を考慮したうえで、岐阜県「経済波及効果分析システム（Ripple）」を用いて経済波及効果を推計したところ、観覧者による岐阜県内への経済波及効果（総合効果）を3,004百万円と推計しました。このうち直接効果は1,947百万円、間接効果は1,057百万円となりました。

**【観覧者による経済波及効果の推計結果】**

	経済波及効果（百万円）
総合効果	3,004
直接効果	1,947
間接効果	1,057

**3. おわりに**

本調査では、「第1回ぎふ長良川花火大会」の観覧者による岐阜県内への経済波及効果を30億円と推計しました。なお、前述のとおりイベント主催者などによる支出もあるため、実際には本推計結果以上の経済波及効果があると考えられます。

今大会は、「①安全対策の強化」、「②花火の質の向上」、「③イベントの継続的な開催」という3点の理由から有料の観覧席が設けられます。会場外からも花火を観覧することは可能ですが、周りや近隣住民の方へのご迷惑、交通の妨げとならないようご配慮をお願いします。

また例年通り、花火大会当日は大変な混雑が予想されます。公共交通機関のご利用や時間にゆとりをもってご来場いただき、安心安全に花火大会を楽しんでいただくようお願いいたします。

以上